

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2297400034		
法人名	株式会社アイケア		
事業所名	グループホームあいの街家代 (1階、2階合同)		
所在地	掛川市家代の里2丁目13番10号		
自己評価作成日	平成24年11月21日	評価結果市町村受理日	平成25年1月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/22/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所		
所在地	静岡市葵区紺屋町5-8 マルシビル6階		
訪問調査日	平成24年11月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者一人一人の性格、既往、過去の生活環境、現在の身体状況を職員全員が把握し、心を通わせる努力を怠らず個人に合ったケアをするよう心掛けている。
職員全員仲が良く、入居者の方達からも「いつも元気に笑っているね」と言われます。
入居者の方達もみなさんいつも笑っています。ここ、あいの街家代で過ごすみんながいつも笑顔でいてくれることを職員全員が心掛けて日々仕事をしています。
御家族、お知り合いの方達が気軽に訪問できる環境を常に心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

介護の仕事が初めてという職員が多く、若くフレッシュな雰囲気には溢れています。職員技量は日進月歩で、管理者・リーダー・看護師などわずかなベテランがマンツーマンでOJT教育に努めていて、若い力を大いに活かす段階に入っています。木目を生かした空間に置かれた日常用品は職員によって整然と片付けられ、また利用者からも職員に指導めいた発言があり、疑似家族としての協力関係が視えました。母の日に女性利用者にはパジャマを進呈するなど、気持ちに添ったこまやかな支援もみられ、充実しています。今後はこの力が地域へも向けられることが期待されます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「いつでも笑い声が絶えない 笑顔あふれる我が家でありたい」との理念をいつも心に置き、入居者の方達との心のつながりを第一に考え日々ケアにつなげています。職員は入居者の方達の笑顔に元気をもらっています。	職員が楽しそうに業務に取り組んでいる様子を見て、管理者は理念が浸透していることを感じています。利用者もアイコンタクトと微笑みで挨拶する人が多く、職員の日頃の笑顔量の反映と受けとめられました。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の美化運動、防災訓練等地域活動には率先して参加しています。また、近隣の方達への挨拶を徹底しています。近隣の方がイベントにはボランティアで来てくれます。地区の小中学生の子達が遊びに来てくれたこともあります。こども110番もお引き受けしています。	音楽の中に体操も取り入れたピアノボランティアは近所からの訪問であり、地域の犬や猫の愛称も呼び合えるほど、親交が進んでいます。地域の防災訓練には「あいの街 家代」とネームを入れたヘルメット姿で職員がPRも兼ねて参加しています。	事業所設置のAEDを活用し、地域へ向けた取扱い講習会を開催することを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区の区長様、民生委員様との会合を持ちいつでもご相談に応じたいとの意向を示しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではご家族の方達が発言しやすい雰囲気を作るよう努力しています。ご家族の意向を尊重しサービスに活かせるよう職員と話し合いを持ちスキルアップに努めています。	多様なメンバーの参加のもと2ヶ月に1回開催しています。運営推進会議では、事業所内の事故報告もし、オープンな姿勢で取り組んでいることが書面からも覗えました。年間の開催日を予め決め、当日次回のテーマを発表し、定期での開催に努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所高齢者支援課の方に事業所、地区、御家族様からの疑問等に答えていただいたり、時には想いを提案として受け止めていただいています。また、福祉に関しての情勢も把握するよう努めています。担当者も細かいことでもいつでも相談下さいと言ってくださいます。	掛川市高齢者支援課からは熱心に、運営推進会議の毎回参加を得ています。西部包括の参加もあり、市と包括に支えられ、恵まれた環境にあります。行政が真摯な対応をしてくれるため、運営推進会議は家族と地域の人が行政へ質問できる貴重な場ともなっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しては常時話し合いを持っています。車椅子の置き方等細かいところまで職員が把握できるよう教育をしています。身体的に危険がありご家族様からの要望で2名やむを得ずベッド柵、離床センサーを設置しています。	玄関は施錠していませんが、2階は不安定な利用者がいるため、出入り口はその日の状態によっては鍵をかけています。無施錠に向け、本部研修・内部研修を重ね、意識が継続するよう取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待はありません。言葉づかい等にも充分注意を払っています。職員も自覚を持ち日々ケアにあたっています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修には参加してはいたませんが個々で勉強するよう話しています。 自立支援を念頭に置き日々支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	理解して頂けるよう説明しています。 気軽にお話して頂けるよう御家族とのコミュニケーションは特に大事にしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族の負担にならない様行っています。 職員とも気軽に話せる関係を築く努力をしています。	昨年の課題としていた「利用者と家族と一緒に過ごす時間がさらに充実するような、イベントの開催」は、掛川花鳥園への外出イベントを実現させています。家族の面会では職員一人ひとりが挨拶慣行をしていて、日頃の様子を伝える時間を持つよう管理者も心掛けています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1.2か月に一度程度の割合で個人面談を行い要望、意見等を聴く機会を設けています。 また、職員の提案に対しては重く受け止め改善を図っています。	職員間も利用者間も「～さん」と下の名前で呼び合っていて、職員も管理者に気軽に呼びかける姿を見かけました。オープンな風土なため、職員は忌憚のない意見を言えていて、管理者も順次取りあげ実践につなげています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めていただいています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	推奨してくれています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	要望に応じ、取り組んでくれています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	技術を重視するのではなく心で繋がれる関係を築いていけるよう努力しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族とのコミュニケーションはとても大事にしています。ご入居者様が安楽に生活できると共にご家族様も安心して日々の生活が送れることを第一に考え相談に乗らせていただいています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談をよく理解するよう心掛け、提案できることはさせてもらっています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員はご入居者とご家族との絆はもちろん、自分たちとの絆も感じています。良い関係が築けていると思っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	訪問して下さる方達にもゆっくりお話できる環境を整えています。	事業所から呼びかけをしなくても、休日を中心に家族の訪問が頻繁にあります。職員は歓迎の意を示し、居心地がよいように心掛けています。針仕事を続ける人や在宅の頃の新聞を購読している人もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者本人の意向を重視しつつお互いが関わりを持てるよう支援しています。関係は職員全員把握しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	時々連絡をくださったり訪問していただき、現状を報告して下さるご家族様もいらっしゃいます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや意向は把握しています。 職員間で話し合いを持ち希望にできる限り近づけるよう努めています。	利用者の発した言葉を経過記録に記載し、職員で共有しています。職員は傾聴を心がけていて、利用者のライフレビューにふれることもあり、理解への道筋になることもあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員全員把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員全員把握するよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	作成しています。	ケアマネージャーがモニタリングからプラン作成まで一貫して行っています。カンファレンスでは利用者のADL把握による職員提案が活発に出ています。家族は協力的で、プラン更新だけのために時間をつくり来所してくれます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	特別な記録を用意はしてありませんが毎日の引き継ぎ、ミーティング等で上がった情報を職員間で共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	努力しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	出来得る限り活用しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携を密に取りこ家族との連携もスムーズにしています。9割の入居者のかかりつけ医が嘱託医であるため2週間に1度の往診を受け、体調の変化を見逃すことなく迅速な医療を受けることができます。	24時間対応の協力医の往診があり、連携がスムーズです。以前からのかかりつけ医を継続している利用者は1割程度で、家族に受診支援してもらっています。受診記録は青が看護師、黒が職員記入と色分けして見やすくなっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	支援できています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携をとり情報交換、相談を密にしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	御家族には入居時の説明と共に体調変化が見られた時等充分な話し合いを持っています。	医療の必要のない場合は看取りに取り組む考えがあり、協力医との関係も構築できています。医療が必要となり転所した例は2例あります。未だ看取り経験はありませんが、マニュアルを作成し、運営推進会議で家族も含めた勉強会をおこなっています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員全員訓練は受けており看護師より急変時対応、応急処置の口頭による説明は受けていますが実践力が身につけているかは自信がありません。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難経路、避難場所は把握できています。地域との協力体制はしっかり築けています。	防災訓練は消防署にも届け出をし、年2回おこなっています。AEDを設置し、全職員が取扱方法を学んでいて、地域にも有事の際には協力する旨を伝えてあります。区長を通じて地域への協力を仰いでいて、夜間における協力体制を築きつつあります。	昼間の協力者として近隣の企業への打診を期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	徹底しています。	目的や理由があつての行動であるという考え 方から不穏、徘徊、暴力といった言葉はつか われないよう決めています。また、言葉がけに ついては丁寧語を用いています。食事の座 席を工夫するなど、利用者間の人間関係に も配慮しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのよう に過ごしたいか、希望にそって支援している	支援できています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	支援できています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている	心がけるよう努力しています。 個人個人の能力を把握し行って頂くようにし ています。	男性職員も料理本などから情報を集めており、味 付けや構成に工夫が感じられます。昼は肉、夕は 魚をメインとし、バランスよく摂取できるようメ ニュー構成を考え、検食簿で振り返りもしていま す。地域柄大変美味しいお茶を堪能でき、行事食 や出前などでかわり食を楽しんでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	支援できています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	行っています。	睡眠前に水分コントロールをしたり、時間で睡眠を妨げることはせず、利用者の自由意思と睡眠を優先させています。「自分が入ってもいいとおもえるように」と管理者が言い続けていて、トイレも床に座れると思えるほど清掃が行き届いています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	かかりつけ医、看護師とも相談をしながら本人の体調に合わせて取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	支援しています。	夏は週3日をめやすにシャワーを付加させ、冬は週2~3日をめやすに取り組んでいて、現在毎日入浴を希望する人はいません。湯も足ふきマットの敷きタオルも人毎に替え、清潔保持に努めています。家族からゆずが届けられ、湯に浮かべられることもあります。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の情報を職員がいつでも閲覧できるようにしており変更があった場合の注意事項も常時伝えています。変化があった時には詳細に記録に残し他職員に報告するよう徹底しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意なことを把握し行っていただけるよう支援しています。ユニット間での行き来をしたり散歩に出かけたりして気分転換をして頂けるよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	努力しています。	散歩が好きでない利用者もいて、散歩の頻度が少ないことや外食も少ないことが課題としてあります。家族が外出に連れ出してくれて受診がてらドライブなどを楽しんでいます。	椅子に座って園芸ができるような仕組みをつくるなど、1日1回は外の空気を吸う機会をつくることを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はご家族にお願いしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族の意向に添って支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫しています。	掃出し窓のため大きな窓から採光がふんだんに入り、明るい共用空間です。窓の外には職員が植えたという唐辛子があり、赤い実が冬の庭にひととき映えています。5Sが行き届き、季節の飾り付けが随所になされ、職員の心遣いが感じられます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	工夫しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫しています。	木目も鮮やかな腰板と白い壁が落ち着きと明るさを醸し出しています。エアコン、介護用ベッド、クローゼットが備え付けられていて、そのほか小物入れや整理箱が持ち込まれ、全体としてすっきりとしています。在宅の頃にしたための達筆の書が掲示された部屋もありました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	工夫しています。		